



熊谷市 記者クラブ取材情報

平成28年11月29日発表
担当課:市長公室 政策調査課

事業の名称等
政策提言の取組状況について

- 日時 平成28年12月 1日(木)
- 場所 市報及び市ホームページに掲載
- 事業概要

【事業内容】
5つの政策分野と55の施策からなる市長の政策提言の3年目の取組状況を公表します。

【目的】
政策提言に掲げた各施策の取組状況を1年ごとに評価をすることで現状を把握し、4年目の施策の取組に効果的かつ効率的に反映させていくことを目的としています。

【経緯・経過】
新熊谷市となった平成17年の市長就任以来、政策提言の1年ごとの取組状況を、11月の定例記者会見や市報12月号、市ホームページで毎年公表しています。

【効果】
市民に情報を公開し、市政に対する関心をより高めていただく効果があります。
- 特徴やPRポイント

施策ごとの達成度を★の数で表すとともに、進捗率と自己評価を発表することで、政策提言全体としての取組状況を詳しくお伝えしています。
- その他

※ 資料の有無(☒ 有 ・ ☐ 無)

担当者 関口

連絡先 048-524-1111 (内線369)

政策提言の取組状況について

～進捗率 80%、自己評価は 77 点～

新たなまちづくりに向けた 5 つの政策分野における市長の政策提言について、任期 3 年目の取組状況をお知らせします。

【概要】

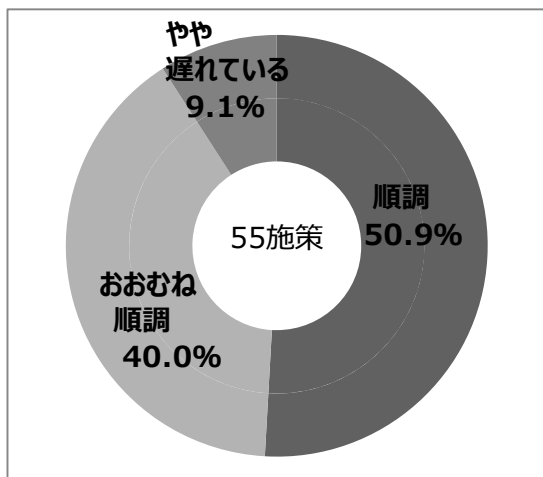
55 施策にわたる政策提言の達成度を、取組状況に基づき次の 4 段階で評価しました。

順 調 (★★★)	3 ポイント
おおむね順調 (★★)	2 ポイント
やや遅れている (★)	1 ポイント
遅れている (－)	0 ポイント

55 施策の評価の内訳は、28 施策が「順調」で 84 ポイント、22 施策が「おおむね順調」で 44 ポイント、5 施策が「やや遅れている」で 5 ポイント、「遅れている」はありませんでした。

これにより、3 年目の合計ポイントは 133 ポイント（全施策が「順調」の評価で 165 ポイントとなります。）であり、進捗率は 80%となりました。この結果を踏まえた市長の自己評価は 77 点です。

政策提言の達成度



達 成 度	施策数	割 合	ポイント
順調 (★★★) 3 ポイント	28 (17)	50.9% (30.9%)	84 (51)
おおむね順調 (★★) 2 ポイント	22 (30)	40.0% (54.5%)	44 (60)
やや遅れている (★) 1 ポイント	5 (8)	9.1% (14.6%)	5 (8)
遅れている 0 ポイント	0 (0)	0% (0%)	0 (0)
合 計	55	100%	133

※()内は、2 年目の数字

※進捗率 80% = 133 ポイント ÷ 165 ポイント

(全 55 施策が「順調」3 ポイントを達成すると合計 165 ポイント)

【3年目の主な成果】

1 創る

- ・ 地産地消を進めるため、学校給食関係者と産地との交流会や農業大学校との連携による新規就農説明会を開催するとともに、妻沼茶豆研究会の収穫祭開催を支援しました。
- ・ 良好な農業生産基盤や豊かな農村環境の形成に取り組む地域の活動組織へ事業支援を行っています。本市の活動組織の数及び取組面積は県内最大で、活動内容も多岐にわたっています。

2 育てる

- ・ こどもが必要とする医療を容易に受けられるよう、医療費の窓口無料化を実施しています。平成29年1月からは、保護者の市税等の完納を要件に、助成対象を高校卒業までに拡大します。
- ・ 小学校の余裕教室等を活用するなどして、児童クラブを計画的に整備しています。公立の児童クラブは、41箇所（47支援単位）、定員は1,735人で、昨年同時期と比較して、90人の増加となっています。

3 守る

- ・ 暑さから皆さんの健康を守るため、熱中症対策に積極的に取り組んでいます。「暑さにまけるな中学生事業」や「まちなかオアシス事業」などを継続して実施したほか、新たに「暑さに強い子“かんげき”！事業」や「小学校委員会活動支援事業」にも取り組みました。
- ・ 生ごみ処理容器等購入費補助制度の拡充のほか、生ごみのひとしぼりモニター制度やエコショップ認定制度を実施し、ごみの減量やリサイクル意識の向上を図っています。

4 備える

- ・ 安心安全に関わる情報の伝達を強化するため、防災行政無線のデジタル化工事を進めています。デジタル化することで、防災行政無線のほか、メール配信サービス（メルくま）、フェイスブック、ツイッター、ホームページ及び緊急速報メール等を一括して配信することが可能となり、迅速な情報発信が図られます。
- ・ 消防無線のデジタル化整備や背負い式消火水のうの配備、防火衣の更新配備を行い、地域防災の要である消防団の機能を充実しています。

5 進める

- ・ ワンストップ総合窓口を開設し、住民異動に伴う複数の申請や届出の一部を一括して手続きできるようにするとともに、コンビニエンスストアで住民票等の取得を可能とするなど、行政手続の利便性の向上を図りました。
- ・ 事務事業の見直しや事業の委託化等により、職員の定員適正化を進めるとともに、地方債の借入を抑制し、平成27年度末の市債残高を26年度末から約23億円削減しました。今後も引き続き行財政改革に取り組んでいきます。

政策提言の取組状況

1 創る

(★★★★「順調」 ★★★「おおむね順調」 ★「やや遅れている」 ―「遅れている」)

番号	政策提言	達成度	取組状況
1	ラグビーワールドカップ2019の試合会場を熊谷ラグビー場に招致します。	★★★★	平成23年にラグビーワールドカップ招致室を設置し、招致委員会を設立して以来、10万人を超える署名を始め、関係者の皆様と一丸となって進めてきた招致活動が結実し、平成27年3月2日に全国12会場の一つとして、熊谷ラグビー場での大会開催が決定しました。
2	全国規模のスポーツ大会を誘致し、その運営を支援します。	★★★★	さくらマラソン大会や選抜高校女子サッカー大会「めぬまカップin熊谷」、全国高校選抜ラグビーフットボール大会を継続して実施しました。また、日本学生陸上や東日本実業団陸上、東日本実業団駅伝が開催されました。
3	人口増のため、新たに市内に居住する若い世代の住宅新築や購入を税制面から支援します。	★★★★	定住人口増加を図るための支援策として、「熊谷市定住人口増加のための固定資産税等の課税免除に関する条例」を制定し、平成27年度分から課税免除を実施しています。平成28年9月議会では同条例を改正し、課税免除の対象住宅への適用期限を3年間、平成32年1月1日までに延長・拡充を図りました。
4	北部地域振興交流拠点施設(仮称)の整備を進め、中心市街地のにぎわいをづくりします。	★	基本構想の策定に向けて、埼玉県と引き続き調査研究を進めるとともに、先進施設の視察等を実施し、市導入施設に関する検討を進めます。また、中心市街地活性化の牽引役となる株式会社まちづくり熊谷が、まちなかモール委員会及び中心市街地活性化協議会の事務局を担い、活動団体のネットワーク化を図ります。
5	秩父鉄道熊谷駅と持田駅との間に新駅を開設し、新たな都市拠点を整備します。	★★	施設整備に係る事業内容、費用負担及び事業完了後の施設の管理等について、熊谷市地域公共交通会議、熊谷市、行田市、秩父鉄道の4者で協定書を締結し、平成28年8月に駅周辺アクセス道路等の工事に着手しました。また、佐谷田新駅周辺地区の開発構想を推進するため、既成市街地の市街化区域編入に必要な都市計画変更手続及び新市街地の開発整備構想の事業化に向けた検証を行いました。
6	籠原駅前北口広場を始発駅にふさわしい籠原地区の玄関口として整備します。	★★	平成28年4月に籠原駅北口駅前広場整備計画を策定し、駅広場予定地の全ての建物について建物移転補償契約を締結しました。平成28年度中の建物移転の完了を見込み、平成29年度に工事着工を予定しています。
7	新たな立地場所を創出し、さらに企業誘致を進めるとともに、市内企業の事業拡大を支援します。	★★★★	「熊谷市企業の立地及び拡大の支援に関する条例」に基づき、新たに9社を指定事業者として指定しました。また、同条例を改正して奨励制度の拡充を図るとともに、企業立地支援ガイドを事業所の新設や増設を検討している企業に配布し、奨励金制度を周知したほか、意向調査や企業訪問を行うことで、企業立地に係るニーズの把握を行っています。
8	うちわ祭を始め各種伝統行事や国宝「妻沼聖天山歓喜院聖天堂」に代表される文化財などの地域資源を生かし、観光客を誘致します。	★★	観光情報誌「まっふる熊谷」を観光施設や観光客等に配布しました。また、さくら祭期間中に、「熊谷さくら流鏑馬」を初開催するとともに、文化財や観光スポットをスマートフォンで検索できるアプリ「こくま」を導入しました。さらに、月刊コミック@バンチに連載中の、妻沼滑空場を舞台としたグライダー漫画「ブルーサーマル」の関連情報の周知に務め、グライダーファン及び漫画ファンの来熊を促しています。
9	地産地消推進のための農産物直売所設置への支援や本市に移転する県立農業大学校との連携により、農業経営を応援します。	★★	農業大学校との連携による新規就農説明会や、学校給食関係者と産地との交流会を開催しました。また、妻沼茶豆研究会の収穫祭開催を支援しました。

番号	政策提言	達成度	取組状況
10	トップセールスにより熊谷産農産物の販売促進を図ります。	★	市場や消費者から高い評価を得ている熊谷産農産物のトップセールスの実施に向け関係団体と調整を行っているほか、都内に店舗があるスーパーマーケットに、トップセールスについて打診しています。
11	池上地区と上之東部地区のほ場整備事業を推進します。	★	池上地区は、事業化に向けた国の審査を受け、平成29年4月に県営事業施行申請及び土地改良区設立認可申請を行い、平成29年9月の認可を見込んでいます。上之東部地区は、仮同意の徴集を行っています。
12	良好な農業基盤や豊かな農村環境をつくる地域ぐるみの活動を支援します。	★★★★	新規に5組織が設立され、事業計画を認定しました。市内の活動組織数は44で、その内7組織が資源向上(長寿命化)にも取り組んでいます。組織数、取組面積共に県内最大となっています。
13	幹線第3号線及び第2北大通線を開通させるとともに、主要幹線道路の整備を推進します。	★★	市道90096号線については、平成29年3月の完成を目指し工事を発注しました。市道136号線及び第2北大通線については、地権者との交渉を進めています。
14	上石第一地区の国道17号を拡幅し、整備を推進します。	★★	国道17号の拡幅に向け、用地確保のため家屋移転交渉を進めるとともに、工事実施に向け、大宮国道事務所と協議を進めています。
15	北大通線の自転車道等の整備を推進します。	★★	平成27年度に、熊谷女子高校から市役所前までの間の整備工事が完了しました。平成28年度中に、熊谷市役所前から保健センター入口までの間を、また、平成29年度中に、中央交番交差点東側の水路暗渠化に併せ、熊谷保健センターから中央交番までの整備を予定しています。
16	スポーツ・文化村「くまびあ」の本格稼働のため、2期及び3期工事を進めます。	★★	平成28年度末に、宿泊棟の増設、クラブハウス、駐車場等の外構工事、西側道路の拡幅工事等の第3期工事の完了を予定しています。

2 育てる

(★★★…「順調」★★…「おおむね順調」★…「やや遅れている」―…「遅れている」)

番号	政策提言	達成度	取組状況
17	学力向上対策を推進し、学力日本一を目指します。	★★	英語ラウンドシステムの導入や、「学習支援充実くまなびスクール事業」の拡充、学力向上補助員の増員など、学力向上に向けた取組を充実しています。
18	こども医療費無料化の対象を高等学校卒業までに拡大するとともに、受益と負担の公平を図ります。	★★★★	平成28年3月定例会において、平成29年1月診療分から、対象を高等学校卒業までに拡大する条例改正を行いました。
19	学校給食について、全校自校式を計画的に進めます。	★	事業手法について検討するとともに、職員による学校敷地調査を実施し、課題の抽出等を行っています。
20	小中学校の屋内運動場を順次改築します。	★★★★	子供たちの安全と地域住民の災害時の避難場所の確保のため、耐震診断の結果に基づき、計画的に取り組んでいます。
21	小中学校の特別教室にエアコンを整備します。	★★★★	子供たちが快適な環境の中で学習に取り組むことができるよう、平成26年度に理科室や音楽室などの特別教室や少人数教室へのエアコン整備を実施しました。
22	幼保連携認定こども園の設置を促進します。	★★★★	平成28年4月に1園が幼保連携型認定こども園へ移行しました。また、認定こども園への移行を条件とする「幼稚園における長時間預かり保育運営費支援事業」を実施する幼稚園4園に対し、補助を行っています。
23	保育料の減免制度を拡大します。	★★★★	埼玉県多子世帯保育料軽減事業について、平成28年1月から減免対応するとともに、平成28年度からは、国の制度拡充に対応するため、市民税額が一定以下の要保護者等の属する世帯の保育料を半額とする特例措置及び市民税額が一定以下の多子世帯に係る特例措置を行っています。
24	保育所待機児童「ゼロ」を継続します。	★★★★	平成28年4月1日現在の待機児童数は0人となっています。
25	地域子育て支援拠点の機能を強化します。	★★	子育て中の親子が気軽に集まり、仲間づくりや育児相談・育児情報の提供の場として、市内19箇所の拠点ごとに、工夫した様々な行事等を実施し、地域の子育て家庭に対する育児支援に取り組んでいます。 また、市ホームページに月毎に各地域子育て支援拠点の行事等を掲載し、利用しやすい拠点づくりに努めています。
26	児童クラブを整備し、その充実を図ります。	★★★★	熊谷南、成田の各小学校内にある児童クラブを増設、江南南小学校内に第2江南南児童クラブを開設し、公立施設は41か所(47支援単位)、定員は90人増の1,735人になりました。
27	不妊治療費の助成を継続します。	★★★★	不妊治療費の額を、1年度当たり10万円を限度に通算5年度に限り助成しています。助成金の申請期限を治療が終了した日から2年以内とするとともに、助成対象者の年齢制限を設けないなど、助成対象を拡大しました。
28	三世帯同居のための新築・増改築を支援します。	★★★★	子・孫世代の転入・定住による人口増を図り、家族の中で三世帯が安心して暮らせるまちを目指し、平成27年7月から親世帯と子世帯が市内で同居又は近居し、住宅を新築・購入や増改築した場合に、その費用の一部を補助しています。

3 守る

(★★★★「順調」★★「おおむね順調」★「やや遅れている」―「遅れている」)

番号	政策提言	達成度	取組状況
29	様々な熱中症対策を実施し、暑さ対策日本一を目指します。	★★★★	暑さから市民の皆様の健康を守るため、市独自の暑さ対策や熱中症対策に積極的に取り組んでいます。今年も「暑さにまけるな中学生事業」や「まちなかオアシス事業」などを継続して実施したほか、「暑さに強い子“かんげき”！事業」や「小学校委員会活動支援事業」にも新たに着手しました。
30	第2次救急病院の運営を支援します。	★★	第2次救急病院の輪番制に対する支援を行うとともに、第2次救急病院の新たな取組等に対する支援制度について検討しています。また、第3次救急病院(救急救命センター)への支援の実施により重篤患者の転送先を確保することで、市内第2次救急病院の負担軽減を図っています。
31	AEDをコンビニに設置します。	★★★★	休日・夜間の救命率の向上を図るため、市内のコンビニエンスストア5社と「コンビニエンスストアへの自動体外式除細動器(AED)設置に係る協定」を締結し、合計61店舗にAEDを設置しています。
32	DVの相談支援センターを設置します。	★★★★	熊谷市配偶者暴力相談支援センター設置後、DV被害者に対する相談業務に加え、「配偶者からの暴力の被害者の保護等に関する証明書」の発行や「裁判所提出用書面」の作成などを行っています。
33	スポーツにおけるマウスガード着用を支援します。	★★★★	「熊谷市口腔外傷防止用具補助事業実施要綱」により、スポーツにおける歯や口腔内の外傷を予防するマウスガードの作製に要する費用の一部を助成しています。
34	市民の「心」の健康づくりを推進します。	★★	自殺予防ゲートキーパーを40人養成し、心の健康づくりにかかる健康教育に424人が参加しました。
35	次世代自動車のための急速充電設備を公共施設に設置するとともに、一般家庭や事業者の充電設備の設置費用を助成します。	★★	道の駅めぬま及び江南行政センターに急速充電設備等を設置し運用管理を行いました。
36	低公害軽自動車の軽自動車税に対して助成します。	★★★★	省エネルギー化を推進するため、低公害軽自動車を取得した方に奨励金(軽自動車税相当額)を交付し、低公害・低燃費軽自動車への乗り換えを促進しています。
37	3R(リデュース、リユース、リサイクル)運動を推進し、ごみの減量化を図ります。	★	資源循環型社会を形成するため、生ごみ処理容器等購入費補助制度の拡充、生ごみのひとしぼりモニター制度及びエコショップ認定制度を実施し、ごみの減量やリサイクル意識の向上を図りました。
38	家庭用太陽光発電設備の設置費用の助成を充実します。	★★★★	地球温暖化対策の一環として自然エネルギーの利用推進を図るため、住宅用太陽光発電設備の設置者に対し、1kW当たり2万円として10万円を上限に補助金を交付しています。また、スマートハウスの設置者に対し、50万円の補助金を交付しています。
39	合併処理浄化槽の維持管理への助成を継続します。	★★★★	生活環境の保全を目的に、合併処理浄化槽の維持管理を徹底し、生活排水による河川等の水質汚濁を防止するため、家庭用合併処理浄化槽の定期検査等に対する補助制度について、埼玉県浄化槽協会及び清掃許可業者との連携により啓発し、検査実施率の向上に努めています。

4 備える

(★★★★「順調」★★「おおむね順調」★「やや遅れている」―「遅れている」)

番号	政策提言	達成度	取組状況
40	全ての小学校の通学路の交通安全対策を推進します。	★★	小学校の半径約500メートルの範囲を中心に、通学路のグリーンベルトや転落防止柵を設置する交通安全対策を継続して実施しており、これまでに小学校24校を重点的に実施しています。
41	生活道路及び排水路の整備と安全対策を推進します。	★★	自治会等からの要望等により、緊急性や必要性を勘案し、生活道路25か所(整備延長3,661m)、排水路7か所(同455m)の整備のほか、舗装打替や、反射鏡、防護柵及び道路照明灯などを設置しました。
42	防犯灯のLED化を促進します。	★★★★	省電力で耐久性に優れたLED化を進めることで、防犯灯の維持管理経費の軽減を図るとともに、犯罪の起こりにくい環境づくりを進めるため、自治会が管理する防犯灯の灯具交換などに対し、費用の一部を補助しています。平成28年9月末時点で82.0%がLED防犯灯になりました。
43	防災行政無線をデジタル化し、安心安全に関わる大切な情報の伝達の強化を図ります。	★★★★	平成27年度に、親局及び江南・大里地区の子局の工事が完了し、平成28年度は熊谷地区の子局の工事を実施しています。
44	防災士資格の取得費用を助成し防災リーダーを育成するとともに、自主防災組織の結成と活動を支援します。	★★	地域の防災力を高めるため、自主防災組織の結成や活動を支援するための補助制度を継続するとともに、自主防災会長を通して防災士の資格取得費用に対する補助制度の周知を図り、防災リーダーの育成を促進しています。また、県自主防災組織リーダー養成指導員の候補者として、3名を県へ推薦しました。
45	災害弱者の支援体制の構築に取り組めます。	★★	災害発生時に迅速な避難支援を行えるよう、自力で避難することが困難な高齢者や障害者などを避難行動要支援者として登録し、避難支援をしてくれる方等を記載した個別計画を作成しています。9月末現在で6,526名の方を登録しています。
46	地域防災に大きな役割を担う消防団の機能を充実します。	★★★★	消防無線デジタル化整備、背負い式消火水のうの配備及び防火衣の更新配備を行いました。また、荒川分団車庫の建替えに向け、設計委託に着手しました。
47	災害時の中心的役割を果たす市役所本庁舎の耐震化を実施します。	★★★★	平成28年5月に、全ての耐震化工事が完了しました。
48	耐震性防火水槽を設置し、防災対策を強化します。	★★	平成28年10月時点での防火水槽設置数527基のうち、耐震性防火水槽は、当初と比較し、8基増の123基となっています。

5 進める

(★★★…「順調」★★…「おおむね順調」★…「やや遅れている」―…「遅れている」)

番号	政策提言	達成度	取組状況
49	シティセールスを進め、様々な熊谷の魅力をアピールします。	★★	市及び観光協会のホームページのリニューアルを始め、大手観光情報誌「るるぶ埼玉」に「熊谷BOOK」を綴じ込むほか、有楽町の東京交通会館にある「ふるさと暮らし情報センター」に定住促進パンフレット「熊谷で暮らす」を設置するとともに、旅行会社や出版社に、市長が直接観光資源や物産をPRしました。
50	将来を見据えて、公共施設のアセットマネジメントを進めます。	★★	庁舎、市民文化施設など18の施設分野別の検討会を設け、それぞれが所管する施設・インフラについての検討結果を取りまとめるなど、「熊谷市アセットマネジメント基本計画」の策定に向け、引き続き検討しています。
51	住民票等のコンビニ交付を実施します。	★★★	平成28年10月11日からコンビニ交付サービスを開始しました。
52	ワンストップサービス窓口を開設します。	★★★	レイアウトや取扱事務の決定及び窓口オペレーションの見直しを行うとともに、番号発券機の導入及び総合窓口案内業務を委託し、平成28年4月から、ワンストップ総合窓口を開設しました。これにより、市民課において、転入、転居、転出、出生等に伴う国民健康保険、後期高齢者医療制度、国民年金、こども医療費、児童手当に関する手続きができるようになりました。
53	「はじめての一步」助成金や「熊谷の力」協働事業提案制度を継続し、市民活動を支援します。	★★	市民活動の立ち上げや事業拡大を支援する「はじめての一步」助成金11事業、市民活動団体と市との協働により地域の課題を解決する市民協働「熊谷の力」5事業の支援を行いました。共助の取組マッチング事業の仕掛人を通しての申請は、「はじめての一步」助成金は4団体、市民協働「熊谷の力」事業は1団体でした。
54	職員の定員適正化を推進し、人件費を削減します。	★★	事務事業や組織の見直し等により、職員の定員適正化を進め、平成28年4月1日現在の職員数(消防職員及び任期付き職員を除く)は1,107人で、前年度と比較して21人減員しています。
55	引き続き市債残高を削減し、健全財政を維持します。	★★★	地方債の新たな発行を元金償還額以下に抑制するとともに、繰上償還を実施し市債残高の削減を図りました。平成27年度末の市債残高は、26年度末と比較し約23億円削減となりました。